

令和5年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要  
女性の活躍

子ども食堂への支援を通じた JA 女性部の活性化と社会貢献活動

○氏名又は名称 JA 熊本市女性部（代表 瀬上 カチ子）

○所在地 熊本県熊本市

○出品財 多角化経営（女性の活躍）

○受賞理由

・地域の概要

熊本市は、清らかな地下水をはじめとする豊かな自然環境に恵まれ、金峰山山麓を中心としたみかん、西南部の水田地帯の米、ナス、トマト、北部の畑作地域のスイカ、メロン、東部地域の酪農、中央部の花き等、各地域でその特色を生かした農産物が生産されており、農業産出額（2021年）は全国市町村で8位を誇る。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

2016年の熊本地震で被災し困窮する家庭が増えたため子ども食堂支援を開始した。2017年には遊休農地を含む0.1haの畑で栽培した野菜を15団体に提供した。2021年には品目数とともに栽培面積も0.6haまで拡大し、JA熊本市管内全域の子ども食堂に提供可能となった。また、食農教育や熊本城災害復興支援金への寄付活動など地域貢献活動も行っている。

・受賞者の特色

（1）JA熊本市女性部の活性化

通年で子ども食堂へ野菜を提供するために野菜の乾燥機を導入し、JAや熊本市との連携により管内全域の子ども食堂への野菜の提供を実現。また、本活動の趣旨に賛同した人が新たに女性部に加入する等、組織が活性化している。

（2）地域貢献

子ども食堂を利用する親子を対象とした食農教育の実施や、女性部員による子ども食堂の調理の手伝いを通じ、子ども食堂や地域との繋がりを深めている。また、各種イベントでの売上金を熊本城災害復興支援金として寄付し、コロナ禍においては、子ども食堂への消毒液の配布や医療関係者に食料を贈呈するなど地域貢献にも努めている。

（3）女性の活躍

子ども食堂への支援はテレビや新聞で取り上げられ、女性部の存在感が高まっている。また、女性部から2名の他、地域枠から1名、合計3名の女性がJA熊本市の理事に登用されてJAの経営に参画するなど、活動が拡大している。

・普及性と今後の発展方向

子ども食堂に提供する野菜を遊休農地に作付けて耕作放棄地を解消するとともに、周辺の団体が子ども食堂へ野菜を提供する活動を始めるなど波及効果がある。

今後は、JA熊本市本店周辺に子ども食堂を新設して地域交流の場とし、さらに多くの人に子ども食堂に興味を持ってもらい、子どもたちが心豊かに成長するための環境と社会を女性ならではの目線で作ることを目指す。